

二匹の しいたずらねずみの話



ビアトリクス・ポター さく・え

たちばな こうじ やく

人形の家を持つてゐる小さな女の子
W. M. L. W. に





昔々あるところに、たいそうきれいな人形の家があったとき。
赤レンガの壁に、白い窓、カーテンはほんもののモスリンで、玄関のドアと煙突までついていた。



その家には、ルシンダとジェーンっていう二体の人形が住んでいた。
ルシンダの方がご主人様だけど、食事の支度を言いつけたことはいっぺんだって
なかった。
ジェーンはコックさんだったけど、こっちも料理したことは一度もないんだ。
なぜってごちそうは、かんなくずでいっぱい箱に入った出来あがりのを買ってあ
ったからね。



二尾の赤いロブスターに、ハムに、魚に、プディング、それに梨とオレンジが三つずつ。

どれも皿からははずれなかったんだけど、見た目はとびきりおいしそうだった。



ある朝、ルシンダとジェーンは、人形の乳母車に乗って出かけていった。
誰もいない子供部屋は、しんと静まりかえってた。
そのうちに、ごそごそかりかりいう小さな音が、暖炉のそばから聞こえてきた。
壁板の幅木の下にあいた穴の中からだ。
トム・サムがちらっと頭をのぞかせ、すぐまたひっこんだ。
トム・サムってのは、ねずみのさ。



つづいて、かみさんのハンカ・マンカも顔を出した。

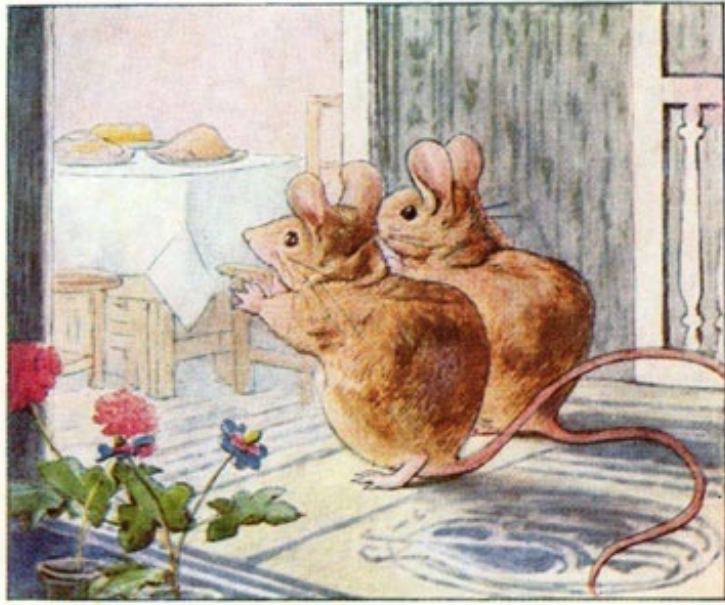
そうして、子供部屋に誰もいないのを見てとると、石炭入れの下に敷いてある油布の上まで、ちょろちょろっと進み出た。



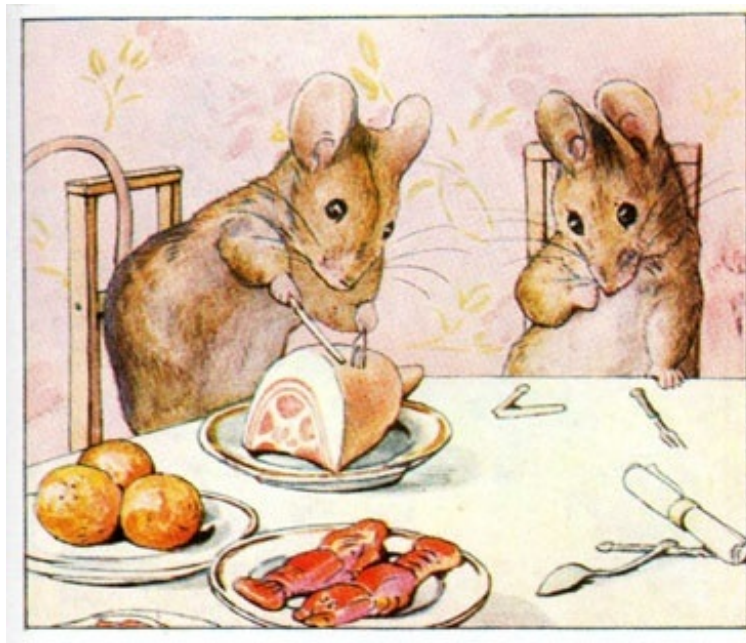
例の人形の家は、暖炉の向こう側にたっていた。

トム・サムとハンカ・マンカは、用心しいしい暖炉前の敷物のうえを横ぎっていった。

玄関のドアを押すと—— かんたんに開くじゃないか。



トム・サムとハンカ・マンカは階段を上がり、食堂をのぞいて、歓声をあげた！
何ともすてきなごちそうが、テーブルの上に並んでるんだもの！
それにすずのスプーン、なまりのナイフとフォーク、そして二脚の人形の椅子 —
—何もかもあつらえたようなんだ！



トム・サムはすぐさまハムを切り分けにかかった。
つややかな黄色に赤い筋が入った、おいしそうなやつさ。
ところがナイフはくにと曲がり、切れたのは手の方。
彼は切った指を口にくわえた。
「こいつは生ゆでだ、えらく固えや。お前やってみな、ハンカ・マンカ」



ハンカ・マンカは椅子に立ちあがって、もう一本のなまりのナイフをハムに叩きつけた。

「チーズ屋んとこのハムと同じくらい固いねえ」とハンカ・マンカは述べた。



ハムは皿からぼこっとはずれ、ごろり転げてテーブルの下に。

「ありゃほっところ」とトム・サム。

「魚をくれや、ハンカ・マンカ！」



ハンカ・マンカは、すずの Spoon をとっかえひっかえして、あれやこれやとやっ
てはみたよ。

なのに魚ときたら皿に張りついたまんまなんだ。

それでトム・サムはかんしゃくおこしちゃった。

落ちたハムを部屋の真ん中に据えて、トングとシャベルでめったうちぎ— バン
バンガンガン！

ハムがばらばらになって飛び散った。

だってそれは、つややかに塗られているだけの、ただの粘土細工だったんだから！



さあトム・サムとハンカ・マンカの、がっかりしたこと怒ったこと。
二ひきはプディングと、ロブスターと、梨とオレンジもぶっこわした。
魚はどうしても皿からはずれなかったんで、台所の、まっかっかの縮緬紙でできた
火の中につっこんだ。
けどやっぱり燃えやしなかった。



トム・サムが、台所の煙突にもぐりこんでてっぺんから顔を出したって— 煤ひとつつきやしない。



トム・サムが煙突にのぼっているあいだに、ハンカ・マンカはまた別のことでがっかりさせられてた。

食器棚の上に小さな缶が並んでるのを見つけてね、〈米〉とか〈コーヒー〉とか〈でんぷん〉だとかいうラベルが貼ってあったのに、いざひっくりかえしてみたら、中身は赤や青のビーズきり入ってやしなかったんだ。



そこでねずみどもは、やらかせるだけの悪さをおっぱじめた とりわけトム・サムときたら！

ジェーンの服を、寢室の洋服ダンスから取りだして、二階の窓から放り投げたりなんかして。

けれどもハンカ・マンカの方は、もったいないって発想を持ちあわせてた。

ルシングダの枕から、羽毛を半分がた引っこ抜いたところで、自分も羽根布団がほしかったってことを思い出したんだ。



彼女はトム・サムの手を借りて、枕を一階まで運びおろし、敷物のうえを通りぬけた。

枕をねずみ穴に入れるのは一苦勞だったけど、どうにかこうにか押し込んだ。



次にハンカ・マンカは、戻っていすと本ばこと鳥かごと、こまごましたガラクタをいくつかとってきた。

本ばこと鳥かごは、どうしたってねずみ穴に入りやしなかった。



その二つは石炭入れの後ろに放りだしておいて、ハンカ・マンカはゆりかごを取りに行った。



ハンカ・マンカがイスをもう一つ運んでいるさいちゅうに、ふいに外の踊り場の方から話し声がしてきたんだ。

ねずみたちは大急ぎで巣穴に駆け戻り、そして人形たちが子供部屋に入ってきた。



ジェーンとルシンダの目に飛び込んだ光景のなんという有様！

ルシンダは倒れた調理レンジに腰かけてまじと目をみはり、ジェーンは食器棚にもたれてほほえみをうかべた　　けどどちらも別段とやかくは言わなかった。



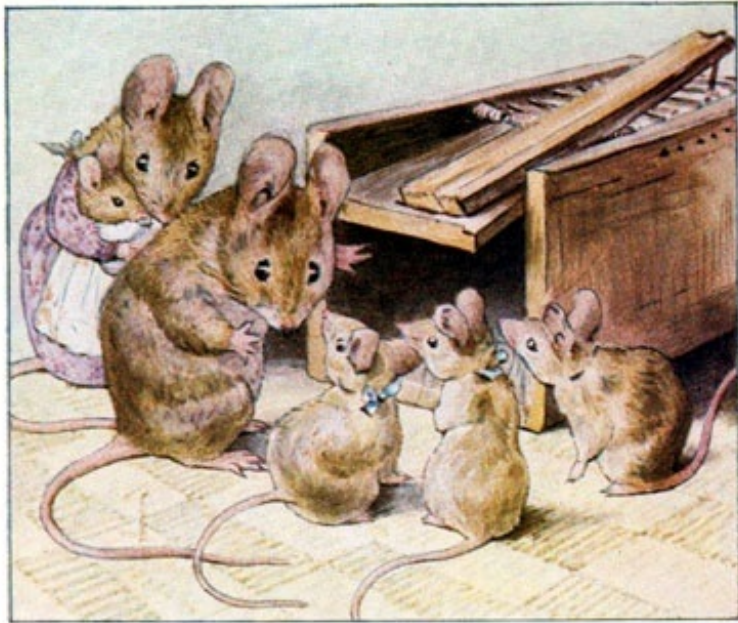
本ばこと鳥かごは、石炭入れの下から見つけて取り返すことができたけど
ゆりかごとルシダの洋服何着かは、ハンカ・マンカに持っていかれてしまった。



他にも、使い勝手のいいなべかまのたぐいやら何やら、いろいろね。



人形の家を持ち主の小さな女の子は言った
「おまわりさんの人形を買わなくちゃ！」



でも乳母はこう言った

「私はネズミとりをしかけますよ！」



これが、二匹のいたずらねずみのおはなせき けどやつらも、しんから困った
連中ってわけでもなかったんだな。

だってトム・サムは、自分の壊したぶんをぜんぶ弁償したんだもの。

暖炉の敷物の下で、曲がった6ペンス銀貨を見つけてさ、クリスマスイブに、ハ
ンカ・マンカとふたりで、ルシンダだかジェーンだかのくつしたのかたっぽに、そ
いつを詰め込んどいたのさ。



それに、毎朝とっても早いうちに みんなが起き出してくる前に ハンカ・マンカはほうきとちりとり持って、人形の家を掃除しにきてるんだよ！

おしまい

ポター作品リスト

Beatrix Potter作品の日本における著作権は消滅し、パブリックドメインに帰しています。
翻訳の底本はFREDERICK WARNE出版の The original and authorized edition です。

1. The Tale of Peter Rabbit (1902) 【[ピーターラビットの話](#) : 2012.3】
2. The Tale of Squirrel Nutkin (1903) 【[リスのナトキンの話](#) : 2012.3】
3. The Tailor of Gloucester (1903) 【[グロスターの仕立屋](#) : 2012.4】
4. The Tale of Benjamin Bunny (1904) 【[ベンジャミンバニーの話](#) : 2012.3】
5. The Tale of Two Bad Mice (1904) 【[二匹のいたずらねずみの話](#) : 2012.12】
6. The Tale of Mrs. Tiggly-Winkle (1905) 【[ティギーウィンクルさんの話](#) : 2012.5】
7. The Tale of the Pie and the Patty-Pan (1905) 【パイと焼き型の話 : 執筆中】
8. The Tale of Mr. Jeremy Fisher (1906)
9. The Story of A Fierce Bad Rabbit (1906) 【[あらくれやくざうさぎ物語](#) : 2012.12】
10. The Story of Miss Moppet (1906) 【[モペット嬢物語](#) : 2012.12】
11. The Tale of Tom Kitten (1907) 【子ねこのトムの話 : 執筆中】
12. The Tale of Jemima Puddle-Duck (1908)
13. The Tale of Samuel Whiskers or, The Roly-Poly Pudding (1908)
【[サミュエル・ウィスカーズの話 もしくは、うずまきプディング](#) : 2013.4】
14. The Tale of the Flopsy Bunnies (1909) 【[フロプシーのちびっこたちの話](#) : 2012.4】
15. The Tale of Ginger and Pickles (1909) 【[ジンジャーとピクルズの話](#) : 2013.1】
16. The Tale of Mrs. Tittlemouse (1910)
17. The Tale of Timmy Tiptoes (1911)
18. The Tale of Mr. Tod (1912) 【[ミスタートッドの話](#) : 2012.11】
19. The Tale of Pigling Bland (1913) 【[ピグリブランドの話](#) : 2013.12】 **NEW**
20. Appley Daply's Nursery Rhymes (1917) 【[アプリィ・ダプリーの子謡](#) : 2012.4】
21. The Tale of Johnny Town-Mouse (1918)
22. Cecily Parsley's Nursery Rhymes (1922) 【[セシリ・パセリの子謡](#) : 2012.4】
23. The Tale of Little Pig Robinson (1930) 【[こぶたのロビンソンの話](#) : 執筆中】

原文参照

[Project Gutenberg : Books by Potter, Beatrix](#)

[Arthur's Classic Novels / Beatrix Potter](#)

二匹のいたずらねずみの話

<http://p.booklog.jp/book/61199>

作者：ビアトリクス・ポター

訳者：橘 柑子

作者プロフィール：<http://ja.wikipedia.org/wiki/ビアトリクス・ポター>

訳者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/tokijikudou/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/61199>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/61199>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ